

森林と人とのなげたい 通信 森倶楽部21

2023年4月 第245号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。
長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。
里山はたくさんの生きもののよりどころです。
たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、
未来に引き継いでいくことが願いです！

活動から

《森林整備・薪グループの活動予定地下見》

日時：3月5日（日）9:30～12:30 天気：晴れ 【森林整備・林産物活用活動】

参加会員：2人

活動場所：森倶楽部21作業エリア内 林内作業道

活動内容：林内作業道の状況確認

今年初めての森林整備チーム・薪グループの合同活動日で、天候に恵まれ春を感じられる陽気の中、今シーズンの森林整備チームの活動予定地の下見を行なった。

きより館に集合した後1台の車に乗り合わせ、きより館から長峰山山頂に向かう道中に点在する作業地のひとつひとつを歩き、倒木の状況や今後どのような順番で整備を実施していくのか、作業車をどこに入れるのか、何人くらいの人手で作業ができそうか等を確認すると共に、薪材として活用できそうな材の選定をしながら下見を実施した。

作業に追われてしまう日頃とは違って、下見をしながら過去の作業の苦労など貴重な話をしながらゆっくりと作業道を確認することができた。作業道には予想どおり倒木やかかり木があり、当面は倒木処理が優先されることになりそうだ。作業道の中には何年も前に整備をしたままのところもあり、定期的な整備と活用が必要だと感じた。

下見の最後は、馬車道を通り烏帽子峰まで登った。烏帽子峰周辺ではハイキングを楽しむ人数名に出会い挨拶を交わした。ここは既に倒木処理が実施されており安全が確保された状態で、ハイカーたちも安心して歩いている様子だった。

多くの人に楽しんでもらえるように森林整備を進めていきたいと感じた。そして森林整備で発生した材も林産物として薪材への活用を進めていきたい。



もと畑のニセアカシア



さまざまな倒木

《会報「森に学ぶ」印刷製本》

日 時：3月6日（月）9:30～13:10 天気：晴れ 【広報活動】

参加会員：9人

活動場所：庄内地区公民館

活動内容：「森に学ぶ」第25号の印刷、製本

年会報「森に学ぶ」印刷・製本はチーム活動のメイン作業の日である。5名の会員が助っ人に加わり、チーム員共に9名で印刷、製本を行った。昨年、印刷予約が必要と指摘されていたので、準備万端整えて臨んだ。



一年ぶりではあったが、皆、テキパキと分担しながら作業を進められた。

今年から調査報告書の印刷が無くなったため、11時には28ページの会報を45部作り上げることが出来た。発行日は4/16、総会の日とした。

乾いた咽喉を潤しながら昼食を摂り、活動作業や身の回りの出来事など歓談を

し、1時間半ほどの楽しい時間を過ごし解散した。なかには年に1度顔を合わすという人もいて、貴重な時間であった。

チーム員は残り、1年の総括と今後の方針を話し合い、午後1時過ぎに活動を終えた。



《絆の森の倒木処理》

日 時：3月12日（日）9:30～1400 天気：晴れ 【森林整備活動】

参加会員：6人

活動場所：私有地A、私有地B

活動内容：私有地Aの伐採予定木の確認・私有地Bの木の伐採

冬季期間の休みを経て、今シーズン最初の作業となった。晴れて暖かく、作業エリアには福寿草がきれいに咲いていた。

最初に薪グループが活動している私有地Aで、所有者と共に令和5年度伐採予定の木へテープ付けを行なった。その後、私有地Bにて、最初に小径木の処理を行い、作業場を確保しニセアカシア2本の伐倒を行なった。1本目のニセアカシアは根元から3本に分かれている変則的な木（全体直径は約30cm）であ



足元のフクジュソウ



ったため、上部をチルホールで引っ張りながら、根元3本を一気に切る方法で伐倒した。作業エリアは斜面でぬかるんでいたが、メンバー全員、上下作業に気をつけて行ったため、ヒヤリハットはなく安全に作業を終了した。伐採した木は後日処理し、薪として活用予定である。



《樹木札作製》

日 時：3月17日（金）9:30～11:30 天気：曇り【蝶の森・絆の森活動】

参加会員：5人

活動場所：きより館

活動内容：樹木札の作製

厳しかった冬も終わりの様子で、春の気配があちこちで出始め、やっと活動の開始にこぎつけた。

手始めに樹木札の作製からで、あいにくの曇天で肌寒い日ではあったが、きより館の外に作業机をセットし、ドラム缶の焚火で暖を取りながら、樹木札の作製を行った。今回は、文字の転写から、掘り込み、墨入れまで、8枚を作ることができた。初挑戦の会員が、この作業は初めてにもかかわらず、転写・掘り込みから墨入れまで、手際よく仕上げたので、随分仕事ははかどった。若い戦力が加わったので、樹木札、案内板などを作製し、長峰山を訪れる方々に楽しく歩いてもらえる「みちしるべ」の活動が進みそうである。



《松枯れ木伐採箇所確認立ち合い》

日 時：3月17日（金）13:00～14:15 天気：曇り【蝶の森・絆の森活動】

参加者：会員4人、安曇野市職員1人、伐採業者1人

活動場所：林道長峰線脇の森林（天平の森駐車場の西側、蝶の森遊歩道入口の東側）

活動内容：松枯れ木伐採箇所確認立ち合い

安曇野市耕地林務課より松枯れ木の伐採を行うにあたり事前に貴重な植物等がないか確認してほしいとの依頼があり対応した。

天平の森駐車場西側の絆の森の松枯れ木2本と蝶の森遊歩道上り始めの道路側の松枯れ木5本がいずれも林道に倒れる恐れがあるため伐倒したいとのことである。

伐採木の位置を確認し、伐倒方向の注意と倒木処理の際に地面を荒らさないことをお願いした。ただし、伐倒の際の支障木としてどうしてもクリを伐らなければならないため、伐ってもよい木（3本）に黄テープを巻き、林床が明るくなりすぎないように伐ってほしくないクリ（1本）に青テープを巻いた。

蝶の森は、チョウジザクラ、シラカバなど守ってほしい木に青テープを巻いた。業者の方は、できるだけ注意して作業をするとのこと。伐倒木は林内に棚積みで放置するとのこと。

伐倒はチェーンソーを使用し、材の片づけに重機を使用するとのこと。作業は22日から3日間の予定で、無事伐採が終わるのを祈るばかりであった。



この林床には気を付けて



蝶の森で確認

《樹木札用材料加工 ワークショップ》

日 時： 3月18日（土）13:30～16:00 天気：雪 【林産物活用】

参加会員：5人

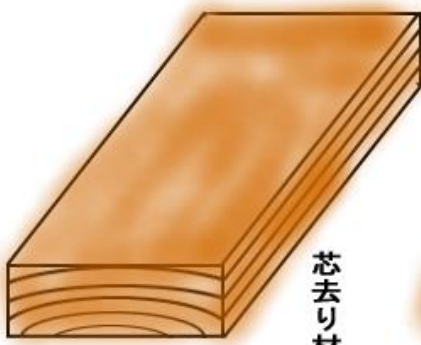
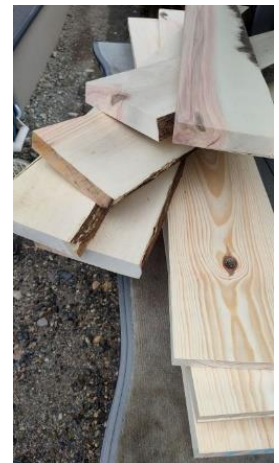
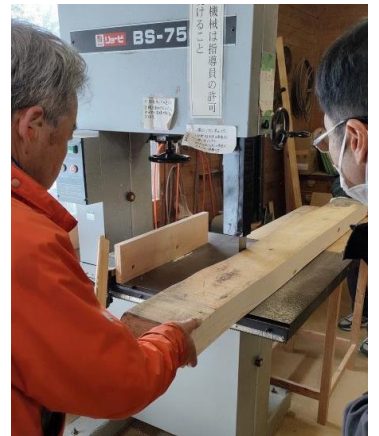
活動場所：朝日村クラフト体験館

活動内容：伐採した樹木を使い樹木札用の板を作製するためのワークショップ

講師を担当する会員が持ち込んでくれたアカマツ、カツラ、ミズキ、コナラ、サクラのうち、板材に向くアカマツ、カツラ、ミズキを朝日村クラフト体験館で、クラフト館の指導員とここをよく利用している講師の指導を受けながら製材した。

板材を取るためには芯持ち材より芯去り材の方が適していることなどを教えていただき、3種類の製材機械を講師以外の4人ができるだけ経験するように作業した。

出来上がった板材はなるべく早く使えるように次の日の活動に参加する会員が持ち帰った。



芯去り材



芯持ち材

* 芯持ち材は、芯去り材に比べて強度は高いが、割れが生じやすいので、樹木札の場合には芯去り材が適している

《ホダ木用伐採材と残材(薪材)の搬出》

日 時：3月19日(日) 9:00～13:30 天気：晴れ【きより館・林産物活用活動】

参加会員：7人

活動場所：蝶の森

活動内容：ほだ木搬出及び薪材(ほだ木用伐採材の残材)搬出、
ほだ木用クリ、サクラの伐採(前回の残り)

会員7名が参加し、蝶の森でほだ木として伐採した材のうち使えない部分を薪材として活用するために、搬出作業を実施した。



蝶の森からどの様に搬出するか色々考えた結果、以前からの搬出案であった西側の林道へ落とす方法が一番との結論となった。林道は通行止めであったが、安全確保のため2人が見守りをした。ほだ木も同様に「傷をつけないで」というリクエストに応えるべく、ブルーシートに包んで斜面を滑らせてみたがかなりの時間を要することがわかり断念。皆

で担いで搬出することとした。参加者が多かったこともあり、作業終了時には目標の40本を超えるほだ木を搬出できた。ほだ木は軽トラできより館に移送した。薪材についても参加者各人が少しずつではあるが確保することができた。

また、11月に伐採が間に合わなかった東側のほだ木用のサクラ、クリの木を2名で伐採した。



《活動シーズン始めの見回り》

日 時：3月26日(日) 9:30～12:00 天気：雨

【絆の森活動】

参加会員：7人

活動場所：烏帽子峰～絆の森

活動内容：活動地の見回り

絆の森・蝶の森メンバーにとっては、年明けてから久々のフィールド。春も間近で皆うずうずしてきていた。ところが当日は残念ながら雨降りであった。

前日、リーダーから「明日は雨の予報ですが、活動地の見回りは作業がないので、雨にも負けず、雨具・長靴など装備を整えて行いましょう。」とGOサインが出ていた。予報どおり雨であったにもかかわらず予定の7名が参加した。

今回の目的は①樹名札の取り替え要否の確認、②案内板設置箇所、地点名称などの検討、③蝶の森遊歩道新規開設ルートの確認の3点。

見回りのコースは、烏帽子峰→水平道→馬車道→天平自然園→水田跡地→堤平→蝶の森の周遊を予定していたが、いつものように木にかかった枝や落ちた枯れ枝を除去したり、目に付いたツルを切ったりしながら、熱心に見回った結果、蝶の森の入口でほぼタイムアップであっ



た。蝶の森の③の確認作業はまた今度ということにして、先日立ち合いをした、松枯れ木の伐倒及び処理状況が適切に行われたことを確認して見回りは終了とした。

その後きより館に行き、矢ノ沢公民館前の屋根のあるテラスで昼食、歓談の後、解散した。



ツノハシバミ



ヒカゲスゲ

長峰山 NEWS

桜前線山登り

4月4日、前日は月遅れの雛祭り。長峰山に向かう国道19号の脇の野生のモモは花盛りでした。これは長峰山のサクラも期待できそうと車を北へと走らせました。

明科東栄町信号から右に曲がり、四賀への県道302号線の長峰山への看板を右に林道長峰山線に入り、入口周辺の満開のサクラを愛で、車を走らせると左にパノラマパーク入口の看板が見えますがこのサクラは八分咲き。



駐車場のサクラ



さらに上は赤味があった蕾の木と満開に近い木とが混在。五分咲といったところでしょうか。そして、天平の森駐車場到着。サクラは蕾でした。

一日中晴れて暖かだったからでしょうか、活動が終わった午後3時には蕾も膨らみチラホラと咲いてきていました。

頂上に足を延ばしてみましたが、木によっては咲いているものもありましたが膨らんだつぼみが多かったです。

途中の蝶の森にはモクレンが満開で、少し赤味があった樹々の間の黄色いダンコウバイが目を引きました。足元に目をやるとキジムシロが黄色い花を咲かせていました。

例年より早いサクラの開花。急ぎ足で春がやってきました。そしてもうすぐ新緑の季節がやってきます。

長峰山も森倶楽部21も活動開始です。



キジムシロ



モクレン



ダンコウバイ

4月のおすすめ観察ポイント

樹木の花



ミヤマウグイスカグラ



ウリハダカエデ

いろんなサクラが見られます



カスミザクラ



チョウジザクラ



オオヤマザクラ

春一番に見られるチョウたちです
成虫(チョウ)で越冬し、陽だまりで日向ぼっこをします



車の上のルリタテハ



枯れ葉の上のテングチョウ

深山麓神楽 田植えの頃に実を熟すことから「たうえみ」とも言われ、古くから子供たちの格好のおやつとして親しまれてきました。地方によっていろいろな呼ばれ方があります

2023年4月23(日)午後1時からミニ自然観察会開催します。(雨天中止)
集合場所 天平の森入口駐車場 特定非営利活動法人森倶楽部 2 1



長峰山遊歩道の蝶の森と堤平に
掲示してあります

2023年4月・5月活動予定

	日	行 事	集 合 場 所	時 間
4 月	4(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30 ~
	9(日)	森林整備活動	きより館	9:00 ~
	11(火)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30 ~
	16(日)	通常総会	天平の森研修棟	9:00 ~
	18(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30 ~
	23(日)	きより館活動	天平の森駐車場	9:30 ~
		ミニ自然観察会	天平の森駐車場	13:00 ~
	29(土)	森林整備薪グループ活動	きより館	9:00 ~
30(日)				
5 月	9(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30 ~
	14(日)	交流会(コマ打ち・天ぶら会)	きより館	9:00 ~
	16(火)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30 ~
	21(日)	森林整備薪グループ活動	きより館	9:00 ~
	23(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30 ~
	28(日)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30 ~
		ミニ自然観察会	天平の森駐車場	13:00 ~

会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、
随時受け付け中です。
お気軽にお問い合わせください。

◇会費 正会員 : 3,000 円

賛助会員 : 4,000 円

一緒によい汗ながしませんか？



■発行

特定非営利活動法人

森倶楽部 2 1

■E-mail npomorclub21@gmail.com

■URL <https://mori21.com/>

■<https://www.facebook.com/morikurabu21>